

# ⑬ 日枝神社と暴れ神輿



金子字河原地区にある日枝神社は、古来、山王権現と唱えられ、祭神は大山咋命、誉田別命、伊弉那岐命、宇迦之魂命、弟橘媛命、水波能売命、少名彦命、須佐之男命、中筒男命です。

この祭神は比叡山延暦寺の鎮守の神で、山の神、水の神といわれています。その昔、酒匂川、川音川の氾濫で苦しめられた村人が、山王権現を祀ることによって水害から免れようとしたものと考えられています。

明治3（1870）年12月、日枝神社と改称し、その後、明治11（1878）年7月に当時の金子村にあった熊野社、吾妻社等8社を合祀し、明治17年12月に村社日枝神社に昇格したとの記録が残されています。

この神社の御輿は、暴れ御輿の類で、暴れ出すと他村にまでかつぎ込んだといわれています。祭りは、秋祭り（10月）で、近郷近在の人々に親しまれ、昼間の御輿、子ども相撲、夜の余興等で賑わいます。



伊谷先生の碑